

# 夏山Ⅱ 四阿山・根子岳 登山

平成27年8月23日(日) くもり時々小雨

午前4時ちようど、総勢14名が2台に分乗し、予定通り出発。日の出も遅くなり暗いなかの集合出発であった。今回は新入会の折橋氏と試し参加の只野氏の2人も参加しての山行となった。



今日は松虫草(マツムシソウ)が満開でした

らしく、霧で遠くはほとんど見えない。7:33分出発、牛の

4:30東の空が赤らんできた、空は曇で覆われているが雨は降っていない模様だ。6:15いつもの東部湯の丸SAで朝食タイム、そして菅平牧場へと向かう。  
7:15菅平牧場到着。第一駐車場が満車のため第二駐車場へ。出発準備。  
標高1600mの牧場は雲の中



桔梗



盛りは過ぎたが白山風露



山母子

放牧されている草原のすぐ脇の道を進んでいく。真っ白い樹皮の白樺林が続ぎ、足元は濡れた土の道で滑りやすかった。白樺とダケカンバの見分け方などを教えてもらいながら、ハクサンフウロ、ヤマハハコ、ウメバチソウなどがあちらこちらとたくさんで出迎えてくれていた。またナナカマドも赤く色づき始め夏の終わりを演出していた。2000m地点でも霧雨が降っていて岩と泥で滑りやすくなっている。



案内表示はきちんとしていました



準備を整え牧場の脇を登ります

10:45ケルンを見送り緑のロープに導かれると中四阿に着く。歩き始めからずっと寄り添ってくれているマツムシソウやアキノキリンソウなどに後押しされ、さらにリンドウの目の覚めるようなブルーに感激し、2100m付近の急登もなんとか通過。あと700mの標識あたりから登りが緩やかになりウラジロモミの林の中で小休憩、大小の丸い石の道をもうひと登りすると四阿山頂上であった。真田十勇士が登ってきたであろうなどと想像しながら、小さな祠にお参りした。昼食タイムとなりそ



松虫草を巻きながら進む



根子岳への分岐を過ぎる



色づき始めた七竈



秋の麒麟草

れぞれ自慢のお弁当を広げニコニコ顔で頬張っていた。頂上はあまり広くなく、360度雲霧の見放題であった。記念撮影後速やかに次の目的地である根子岳に向かった。約300mを一気に下ることになるが、おいしい昼食後であったため、足取りも軽くだんだん下って行く。霧や小雨の中の行程で、雨具の脱着に煩いながら2039m着前方には根子岳山



やっと四阿山が顔をだしてくれました



山頂にて

視界は残念ながら無し



最後の急登



根子岳山頂にて



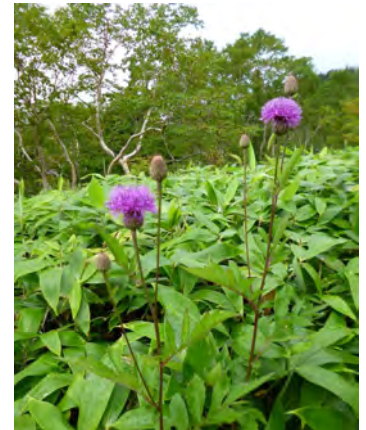
次の山 根子岳（花の百名山）



梅鉢草



大文字草



田村草



菖



猪独活

帰路は途中で真田温泉で疲れをほぐし、一路わがふるさと野崎へ。暗いうちから暗くなるまで皆さんお疲れ様でした。「折橋さん、只野さん今日の山行いかがでしたか」また伊藤さん荒木さん運転本当にお疲れ様でした。

(辺見賢一 記)

頂に続く笹原の道がきれいに見えていた。前述の可憐な花々の咲く登山道を時折小雨に降られながら登り、13:34大文字草やホタルブクロなどにも迎えられ、根子岳山頂に到着した。頂上はとても広く360度の名だたる山を紹介したパノラマがあり、また根子岳が花の百名山である標識も立っていた。我々の貸切状態の頂上も霧に覆われてしまっているため、展望はパノラマによる瞰投影となった。

しばし休憩した後下山となった。笹原の中や登山道付近の花畑に感激しながら、下ること一時間一五分、出発地点の牧場管理事務所に到着した。すぐに牧場直営店に向かい、とっても濃くおいしいアイスクリームや牛乳を満喫したことは筆を待たない。

- と き 平成27年8月23日(土)
- ところ 四阿山(日本百名山)、根子岳
- てんき 曇り時々小雨
- 参加者 海津(CL)、植竹(SL)、斎藤(会計)、辺見(報告)、伊藤(記録)、伊藤(撮影)、藤田、荒木、大金、頼高、市村、高木、折橋、只野
- おあし 5,700円

○コースタイム

野崎＝菅平牧場P－小四阿－中四阿－四阿山(昼食)－根子岳－菅平牧場P＝真田温泉(入浴)＝野崎

04:00 07:35 09:05 10:00 11:10~45 13:30 15:00 16:00~40 19:30



峰薄雪草



御山竜胆



丸葉岳落



柳蘭

